

第78回車座集会（中原区）結果概要

1 開催概要

日時 令和8年3月1日（日） 10:00～12:00

場所 中原区保育・子育て総合支援センター

(1) テーマ等

地域を守る！防災訓練をアップデート
～地域における未就学児世帯の防災力向上に向けて～

◆これまでの経過や令和7年度の防災訓練の取組等を共有

◆意見交換①

令和7年度総合防災訓練についての意見や感想
防災に関して、不安に感じていることや知りたいこと

◆意見交換②

地域の多様な主体を想定した新たな取り組みの形について

(2) 参加者、傍聴者

計15名（参加者15名、傍聴者0名）

2 アンケート結果

2ページ以降参照

3 意見交換の概要等

11ページ以降参照

第78回車座集会（中原区）アンケート集計結果

●今回の実施内容について

回答率：100%
参加者：15/15人

問1 本日のテーマはいかがでしたか。

よい	よくない	どちらともいえない
14	0	1

問2 上記を選んだ理由を教えてください。（1/2）

- ✓所属が保育園で未就学児を対象にした内容でしたのでとても興味深く、また**保育園でできることについて深く考えるきっかけになった**。
- ✓小さくて消えてしまいがちな意見を直接市長にお伝えできたこと。
- ✓ご近所の防災部長と**つながれた**こと。
- ✓**日常を見直すきっかけになった**のと、同じ地域に住む方々のお話や普段お会いできない市長や区長のお話も聞けて、面白く、興味深く、学びも多くあったため。
- ✓自助の意識格差という明確な課題を解決するためというテーマがあること。また、**昨年度から継続して取り上げて本気で解決しようとするように感じる**ため。
- ✓家庭の防災、地域のコミュニティ強化に役立つテーマだったため。
- ✓**市民共同参加型コミュニティ醸成の第一歩**になりうると感じました。いろんな視点から刺激を受けられました。

問2 上記を選んだ理由を教えてください。(2/2)

- ✓子育て世代は時間的余裕がないため、このような機会を設け様々な機関と話ができた事は有意義な時間だったため。
- ✓普段考えないことを考えることができた。
- ✓防災という幅広いテーマでターゲットを絞ったため。
- ✓地域防災を強化することは非常に大切なため。
- ✓貴重な題材ではあるが、子育て世代を集めるなら、まずは子育て環境の充実の方が優先度が高いため。

問3 本日参加いただいた御感想を教えてください。

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
15	0	0

問4 本日の車座集会で心に残った発言や、本日の議論を踏まえて、防災訓練や防災対策について気付いた点、取り組んでみたいことなどがありましたら、御記入ください。（1／3）

- ✓マリオの下水のお話や、保育園での擬似停電案などアイディアに驚かされました。
- ✓いつもは何となくイベントに参加する側だったのですが、**参加してみたの感想や意見などをお伝えすることでより広い層にささるものにアップデートしていける**と感じました。
- ✓**より自分事として考えることができるきっかけ**になりました。未就学世帯のお話で保育園からの発信されたお便りなどは必ず目を通す、掲示板なども目を通すというお話などがあり、だからこそ**保育園にできることがあるなという風**に感じ、**保育園でできることを今後も探っていきたい**と思いました。また、現在、川崎市や中原区で力を入れていることなどを今回参加したことでより深く感じることができました。
- ✓武蔵小杉エリアは、働いている親御さんが多いため、平日昼間の人口は夜間に比べて少ない状況です。そのため、平日の日中に災害が発生し、親子が離れている場合の対応についても想定していただけるとありがたい。特に、幼稚園や保育園、支援センターなどの防災対策について、より具体的かつ詳細な取り決めに明確にしていきたい。例えば、子どもが保育施設で待機している際に、帰宅困難者がトイレの利用を求めてきた場合、施設として開放するのかなど、具体的な対応方針があると安心できると思います。
- ✓**地域のつながり、横のつながりというのがどうしても希薄になってしまうことが、防災意識を高める上でとてもネック**になるのだろうなと思いました。直結しないようなことが意外と防災意識を高めることには必要なのかなど。地域のイベントに参加してみたり子育て支援センターを利用している方ですが、もっと積極的に参加したり周りのお友達などにも声をかけて、**少しずつ地域の輪を広げていきたい**と思いました。
- ✓町内会や避難時運営は共助の土台としてどんな方も受け入れられるような懐が広くありたいと思いました。**掲示板をよく見られている方がいること、町内会加入に興味をお持ちの方がおられたのは新しい視点**でした。

問4 本日の車座集会で心に残った発言や、本日の議論を踏まえて、防災訓練や防災対策について気付いた点、取り組んでみたいことなどがありましたら、御記入ください。（2/3）

- ✓ターゲットを絞った安否確認を検討していましたが、高齢者だけではなく他に支援が必要な方も考慮するように意識を変えていきたい。防災訓練や避難所運営で未就学児を意識していないことに気づいた機会になりました。一方で、どんな訓練が求められているのかは分からなかったです。子供に興味を持たせるものが必要というのは分かりますが。車座後に出演者との会話の中で、有事の備えシミュレーションのために防災キャンプを実現して欲しいとの声をいただきました。
- ✓街の掲示板や保育園、子育て支援センターからの配布で、川崎市からの防災の子育て家庭向けの備えやお知らせを毎月もしくは隔月でお知らせして頂けるとありがたい。（今月の備えチェックは携帯トイレ等、備えも少しずつ見直せるように。）
- ✓保育園の役員会では過去のトラブルの経緯からグループLINEの規約を作り、クラスグループLINEを作成した経緯があります。保育園ほどのルールは不要かもしれませんが、車座集会をきっかけとした今後も繋がれる（相談できる）仕組みがあったらと思いました。未就学児世帯としての参加ではありましたが、会社の名刺を持って行くか、LINEを交換すればよかったです。
- ✓特に川崎市やかわさきFMさん主催の防災イベントを知った段階で予定に組み込み、家族で参加していきたい。
- ✓かわさき市政だより、なかはら区版について、今後は情報を取りに行くつもりで気軽に読んでいこうと思いました。
- ✓子どもと行く近隣の公園で遊んだお友達や同じ保育園のお友達等出会ったら、雑談する等、心がけていきたいと思います。また、同じマンションに住む方とも、挨拶や挨拶以外の雑談をしつつ、有事の際の備えをしていきたいです。

問4 本日の車座集会で心に残った発言や、本日の議論を踏まえて、防災訓練や防災対策について気付いた点、取り組んでみたいことなどがありましたら、御記入ください。（3／3）

- ✓これまで実施してきた親子対象の取組への生の意見が参考になりました。見直しが必要だと感じていた事業内容について参加しようという意欲とならないという率直な意見や、伝えられていると思っていたことが伝わっていなかったことが分かりました。また今の世代に合わないのではと感じていた掲示板等が意外と活用されている現実を知りました。今後、この機会に見聞きした意見を現在の取組に盛り込んだり、内容の見直しに活かす予定です。
- ✓防災バッグはすぐにでも作ろうと思う
- ✓心に残った発言は、自分の生活リズムの中でのイベントや体験があったら多くの人は不安があるけど見たくないことや講習をしても響かないということ。
- ✓日本は災害大国なため、いつ地震や水害が発生するか分かりません。南海トラフ地震や首都直下地震が、今発生する可能性があるという意識を持ち、日々生活したいと思いました。そのためには、具体的に我が家の防災で何が足りていないのかを確認することと、また災害時に地域からどのような支援をどこで受けることができるのかを調べたいと思いました。
- ✓自宅保育の方のネットワーク構築や情報収集に課題がある

問5 本日の車座集会について、感想や御意見等を御記入ください。(1/2)

- ✓最初は少し緊張していましたが、皆さんと輪になって座るスタイルのおかげで、最後はリラックスして自分の思いを伝えることができました。新しい視点をもらえて大変学びになりました。
- ✓素敵な場を企画してくださり、ありがとうございます！！
- ✓様々な参加者がおり、それぞれのお立場からいろんな意見が飛び交っていて、より防災力向上について深く語り合うことができたなという風に思いました。
- ✓集まられていた保護者の方々は、比較的防災意識の高い方が多い印象を受けました。今後は、**そうではない立場の方のご意見も伺える機会があると、より多角的な視点での検討につながるのではないかと**感じました。
- ✓様々なご家庭、環境、お子さんの個性、ご職業におかれている皆様のお話を伺えてとても有意義な時間でした！なるほど、そういう視点があるのですね！という気づきはもちろん、そんな活動をされていたのですね！？といった新たな発見もあり、大変興味深かったです。**皆様方のご意見を聞いて、改めて自分は、自分の家族とは、どうしたいのかを考える良いきっかけ**になりました。
- ✓こういった場に参加し、皆様とお話しすることが今後の地域や川崎市の発展、そして今回で言えば防災力ということに繋がっていくと信じているので、ぜひまた何かお力になれることがあればお声掛けいただけましたら嬉しいです。喜んで参加させていただきます。
- ✓福田市長に直接思いを伝える、聞いてもらえるとても貴重な機会でした。また**市長が聞こうとする姿勢や意見を出し易くする姿を知れました。ひとがらからも信頼できると思う機会**になりました。
- ✓保育して頂けて助かりました。中原保育・子育て総合支援センターに初めて来ました。2019年生まれの長男が生まれた時、たくさん中原区や高津区の保育園に行ったものの、その時はなく、2022年生まれの息子の時には来てみればよかったと思いました。

問5 本日の車座集会について、感想や御意見等を御記入ください。(2/2)

- ✓車座集会を知る前と比べて、**車座集会参加後の意識を変えることができました。防災コミュニティのようなものがあったら、所属してみたくなりました。**
- ✓たくさんのアイデアを現役世代からいただきました。もっともっと頑張る！！
- ✓市・区長と話せる機会は滅多にないので、双方向コミュニケーションの時間がもっとあると良いと思います。危機管理課の皆さんはもっと明るくいきましょう！**企業PRの時間が少し長いです。**
- ✓直接、お話しできる機会をいただけて本当に嬉しかったです。
- ✓区内の子育て親子の方、子どもに関する事業者の方等と意見を交わす機会はとても有意義でした。**出された意見はテーマ以外にも関わるものもあり、とても参考になりました。ここで得た意見や感じた事は、次に活かしていかないと感じています。**
- ✓市長が回すと、市長が聞きたい話を引き出されている感じがして、車座としてはかなり意図的な時間と感じます。別にファシリテーターを置いて回してもらいたいです。
- ✓さまざまな立場の方の声を直接伺うことができ、**自分では気づかなかった視点にも触れることができました。**行政としてもなんとか解決していきたいとする姿勢が感じられた点も、とても良かったと感じています。**今後につながる意見交換の場だったと思います。**
- ✓地域で行われている防災対策や活動で初めて知るものも多くありました。**自分の家族は自分で守らなければならないため、これまで以上に高い意識を持って防災対策をしたいと思います。**
- ✓市長や区長のフィードバックがもっと長いと良い

問6 車座集会で取り上げてほしいテーマや御意見などがありましたら、お聞かせください。 (1/2)

- ✓子育て自体に関するテーマも良いかと思いました！
- ✓やはり、これだけ子育て世代の多い中原区なので、ぜひ出産・育児・子育て支援に関する車座集会を開催していただきたいです！ぜひ生の声を聞いていただき、今ある制度の見直しや新たにご検討いただきたいことなど、お話しできたら嬉しいです。
- ✓川崎の魅力を伝えるふるさと納税
- ✓多摩川のさらなる有効活用
- ✓川崎市のごみの出し方やQA等（YouTubeであると便利かもしれません。）
- ✓川崎市の区ごとのコミュニティ一覧（タウンページのコミュニティ版、情報発信一覧があるとありがたく、高津区に近い中原区民のため、どちらも調べられたらありがたいです。）
- ✓ダレツウ使いやすい？子育てアプリすくすく使いやすい？聞いてみたいです。
- ✓防災メインではなく子育て環境の改善や支援に関して議論する場が欲しいです。
- ✓今回の議論が具体的にどう生かされたかフォローアップの明示化をお願いいたします。
- ✓教育

問6 車座集会で取り上げてほしいテーマや御意見などがありましたら、お聞かせください。 (2/2)

- ✓ 令和10年度近辺に大型マンションへの居住が始まる。高層マンション内、またはマンション住民と地域との関わりでそれぞれの立場ですべき事、できる事は何か。
- ✓ 子育て中の親への仕事と生活や育児の両立支援について。メンタルヘルスについて。
- ✓ 「つながる」という言葉が一人歩きをしている気がします。その「なぜつながる必要があるのか」を大人の立場や子供の立場、高齢者、先生の立場他色々な人たちの考えを聞いてみたいです。AIが相談相手になっていると数字をみて、早めの対策が必要と感じています。
- ✓ 子育て世代や子育て支援をしている関係者による「地域で育てる子供たち」
- ✓ 子育て環境の改善

第78回車座集会（中原区）



令和8年3月23日
中原区役所



地域を守る！ 防災訓練をアップデート ～地域における未就学児世帯の防災力向上に向けて～

主な意見 及び 今後の取組



1. 意見交換での主な意見①（意見交換①）

意見交換①

- (1) 中原区のR7総合防災訓練（3つの取組）について意見や感想を教えてください。
- (2) 防災に関して、不安に感じていることや知りたいことについて教えてください。

主な意見（1 / 3）

R7取組に対する好意的な意見

- ーおもちゃ目当てで小杉小のイベントに参加したが、当日のプログラムで子どもに「これは、うちではやっていないね」と言われてハッとし、その後、家具を固定した。
- ー普段は小学校に行く機会が無いいため、避難所となり得る小学校に行けて良かった。
- ー防災イベントにしては最大級ではないかと感じた。

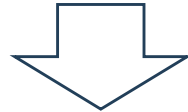
未就学児世帯にターゲットを絞り、地域の学校や企業等と連携して総合防災訓練を実施したことで、防災への意識や関心が比較的低く、防災訓練への参加経験に乏しい若年層（30～40代）の子育て世帯にアプローチすることができた。

1. 意見交換での主な意見①（意見交換①）

意見交換①

- （1）中原区のR7総合防災訓練（3つの取組）について意見や感想を教えてください。
- （2）防災に関して、不安に感じていることや知りたいことについて教えてください。

主な意見（2 / 3）



広報に関する意見

－保育園のお便りへの同封チラシ等でもっと広報があると良かったかもしれない。

R7取組においても保育園のお便りへのチラシ同封は行ったが、単発で終わらせるのではなく、複数の機会を捉えて広報や啓発等を行う必要がある。

1. 意見交換での主な意見①（意見交換①）

意見交換①

- (1) 中原区のR7総合防災訓練（3つの取組）について意見や感想を教えてください。
- (2) 防災に関して、不安に感じていることや知りたいことについて教えてください。

主な意見（3 / 3）

イベント運営に関する意見

- ーおもちゃ交換は良いアイデアだが、おもちゃのメンテナンスが不十分だった。
- ー『まるまる防災博』にも、小杉小イベントのような子どもが身体を動かして学べるようなコンテンツがあっても良かった気がする。
- ー小杉小(ちびっこぼうさいがっこう)とコアパーク(まるまる防災博)に距離があり、子どもを連れて同日に2つ参加するのは難しかったのではないかな。

ターゲットとした未就学児世帯の思考や行動様式等（「子どもには清潔で安全なものを与えたい」「子どもを連れて短期間で長距離移動するのは難しい」など）を踏まえれば、改善の余地はあった。

2. 今後の取組①（区の防災訓練）

◇引き続き、区の地域性を踏まえたターゲット設定を行った上で、ターゲットに即した防災訓練を展開する。

◇その際には、庁内の職員の連携や意識向上を図りながら、ターゲットの思考や行動様式等を踏まえた上で細部まで意識して防災訓練を実施する。

- －ターゲットに関する事前の情報収集（対象者数、特性、ニーズ等）
 - －ターゲットの特性やニーズ等を踏まえた訓練メニューの検討
 - －防災訓練に関する応援職員への十分な事前レク
- etc

◇未就学児世帯に対しては、引き続き以下の施設や地域団体等と連携しながら、在宅避難の推奨や区総合防災訓練等の情報発信を行う。

- －保育園や幼稚園等
 - －子育て関係団体
 - －町内会・自治会
 - －民生委員児童委員
 - －マンション管理組合
- etc

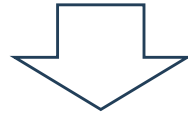
保育・子育て総合支援センターのほか、区役所内の複数の所管課（地域ケア推進課や地域振興課など）が連携しながら広報・啓発等を行っていく。



3. 意見交換での主な意見②（意見交換②）

意見交換②

防災に関し、地域のどのような主体が、どんな時に、どのような取組を行うと良いと思うか、意見やアイデア等を教えてください。



いつ、どこで情報を得るか？

主な意見（1 / 3）

- － 保育園のお便りに防災のことを入れたり、防災イベントのチラシを同封して渡す際や保護者懇談会の際などに職員が保護者に一声かけて周知できると良い。
- － 公園で子ども達が遊んでいる時にチラシを配るなどは町内会にもできる。
- － “自宅保育組”は地域とのつながりが無く、情報も自ら収集する必要があるので、そうした世帯でも自然と地域とつながり、情報が入ってくるようになると良い。
- － 孤立しがちな医療的ケア児世帯でも情報収集やイベント参加がしやすくなると良い。
- － 子どもと一緒にゆっくり歩いていると、町の掲示板などをよく見る。インターネットはもちろん、そうした物理的な掲示物も意外と重要ではないかと思う。
- － 子どもと一緒に風呂に入るので、お風呂に貼れる啓発物があると良い。

保育園等と連携するだけに留まらず、保育園等に通っていない未就学児世帯も含めて様々な場所や機会を捉えて広報や啓発等を行っていく必要がある。

3. 意見交換での主な意見②（意見交換②）

意見交換②

防災に関し、地域のどのような主体が、どんな時に、どのような取組を行うと良いと思うか、意見やアイデア等を教えてください。



どこで、何を行うか？

主な意見（2 / 3）

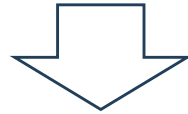
- ー子連れだと駅近の大型イベントや人の多く集まる場所には行きづらいこともある。グランツリー等は買い物ついでに寄ることができるが、日々通う地域子育て支援センターなどの身近な場所でも、小規模なイベントや講座、災害を想定した保護者の話し合いの場があると良い。
- ー防災講座など、話を聞くだけではつまらないので、行きたくない人も多いと思う。防災シミュレーションや被災体験イベント、非常食を皆で食べてみるとか、楽しいと思えるイベントを子育てサロンや地域子育て支援センターでも出来ると良い。

規模の大きなイベントだけでなく、日常的に通う施設や集まりの中で、様々な形のイベント（座学式の講座だけでなく、参加型・体験型のイベントなど）が開催される環境づくりを行っていく必要がある。

3. 意見交換での主な意見②（意見交換②）

意見交換②

防災に関し、地域のどのような主体が、どんな時に、どのような取組を行うと良いと思うか、意見やアイデア等を教えてください。



何を、どのように行うか？

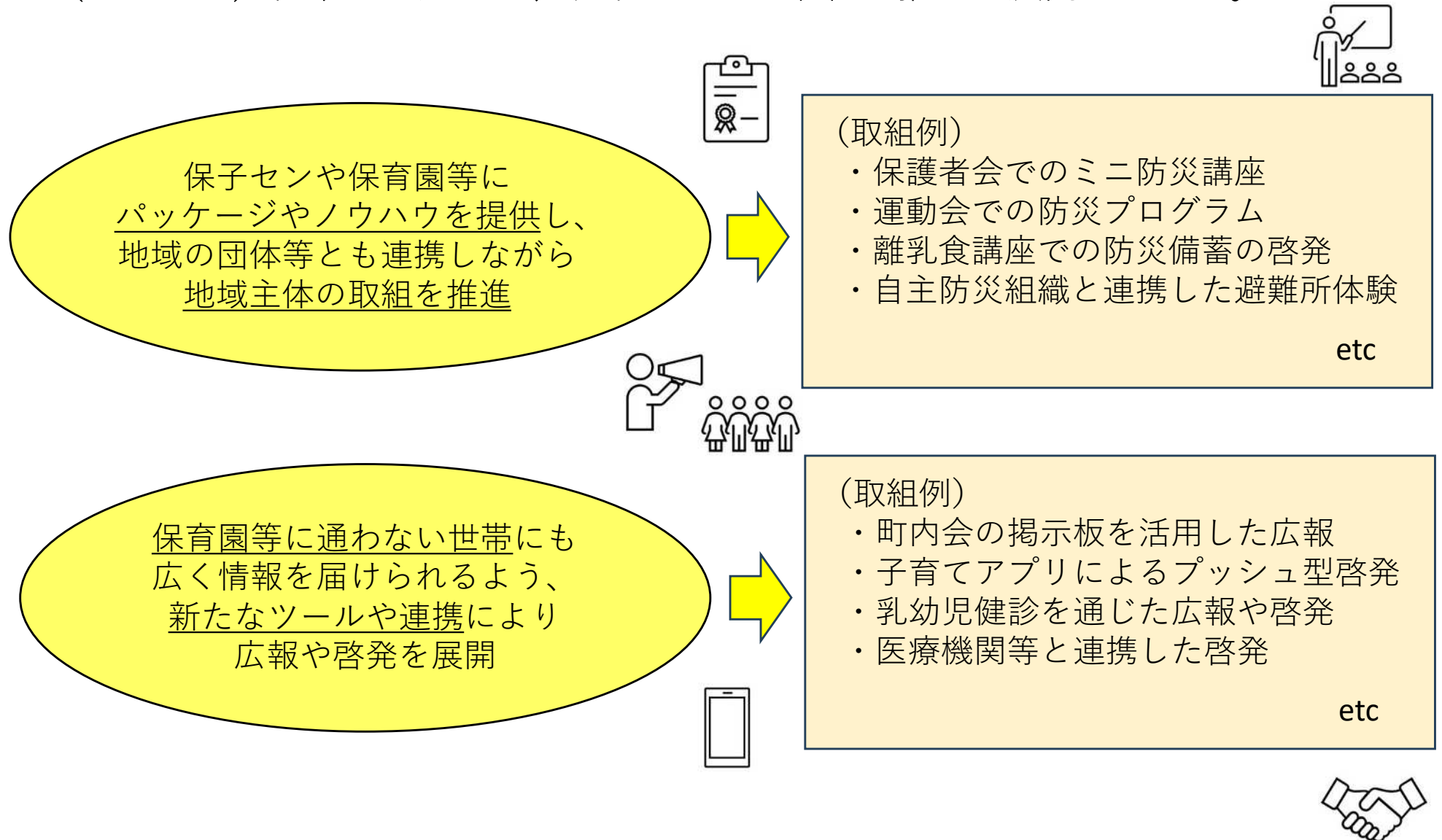
主な意見（3 / 3）

- ー東日本大震災の体験など、実際に災害を経験した人が当時のリアルな話を伝えていくことができると良い。
- ー実体験に勝るものは無いので、実際に水や電気を使えない日を設けても良い。
- ー防災、防災と集中的にPRされると、正直うんざりする家庭もあると思う。人と人のつながりや地域でのコミュニケーションが防災に貢献することも大いにあるので、つながりづくりという視点から入っていくことも必要ではないか。

災害をリアルに感じる機会を提供する一方で、堅い「防災啓発」と感じさせないような取組についても検討が必要である。

4. 今後の取組②（地域の多様な主体と連携した取組）

◇保育園や幼稚園等に通う未就学児世帯だけでなく、それらの施設に通っていない（通えない）世帯も想定して、以下のとおり取組を推進・展開していく。



※中原区で保育園等に通っていないのは、未就学児世帯全体（約1万世帯）の約23%と推計される。

5. 今後のスケジュール（イメージ）

